

# 平成 22 年度 (2010 年度)

# 事業報告

# 平成 23 年度 (2011 年度)

# 事業計画(案)

## 事業報告

|                              |    |                            |    |
|------------------------------|----|----------------------------|----|
| <総括報告>.....                  | 2  | 4 日本語学習事業                  |    |
| 1 外国人の人権擁護と自立支援              |    | 4-1 日本語教室.....             | 10 |
| 1-1 生活相談.....                | 3  | 4-2 国際子どもクラブ.....          | 11 |
| 1-2 シェルター.....               | 3  | 5 子どもの健全育成事業               |    |
| 1-3 DV講習会・生活相談勉強会.....       | 4  | 5-1 子どもの健全育成支援.....        | 12 |
| 1-4 パソコン教室.....              | 5  | 6 行政との協働                   |    |
| 2 国際理解と国際交流の推進               |    | 6-1 行政関係会議.....            | 13 |
| 2-1 国際理解講座.....              | 5  | 6-2 埼玉県協働提案事業.....         | 14 |
| 2-2 大学との協働.....              | 5  | 1) 携帯電話通訳事業                |    |
| 2-3 語学教室.....                | 6  | 2) 7か国語による快適生活情報クリップ       |    |
| 3 多言語情報の収集と提供                |    | 6-3 NGO・NPO・日本語ネットワーク..... | 16 |
| 3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」...7 |    | 7 その他                      |    |
| 3-2 生活ガイドホームページ.....         | 9  | 7-1 機関誌「ハローフレンズ」.....      | 18 |
| 3-3 翻訳.....                  | 10 | 7-2 ホームページ.....            | 19 |
|                              |    | 7-3 センター利用.....            | 20 |
|                              |    | 7-4 スタッフ会議・理事会・その他.....    | 20 |

## 事業計画 (案)

|                                 |    |
|---------------------------------|----|
| 1 シェルター.....                    | 25 |
| 2 多言語情報誌「インフォメーションふじみの」の発行..... | 25 |
| 3 日本語教室.....                    | 25 |
| 4 パソコン教室.....                   | 26 |
| 5 国際子どもクラブ.....                 | 26 |
| 6 携帯電話回線を利用した通訳事業.....          | 26 |
| 7 子どもの健全育成事業.....               | 26 |
| 8 センター15周年記念事業「国際フェスティバル」.....  | 27 |

## 事業報告

### 《総括報告》

3月11日の大震災・福島原発・口蹄疫発生・猛暑・子ども手当の支給開始等、今年もいろいろなことがありました。外国人を巡る状況も刻々と変化しています。リーマンショック以来外国人が減ったとはいえ一日2万770人が来日し、国際結婚も増加の一途をたどっています。

ふじみの国際交流センターでもいろいろなことがありました。

生活相談やシェルター・日本語教室・翻訳・通訳など今年も大勢の外国人と接し、小説にもないような多くの人生模様を垣間見ました。

8月にうれし野会館に引っ越ししたのをきっかけに、実家のように毎日センターに通ってきてくれていた外国人利用者が激減したり、韓国語教室が独立したり英語教室が場所を変えざるを得なくなったことは寂しいことです。

一方、埼玉県との協働事業が実現し、7か国語による快適生活情報クリップを1万部作成し、県内各地の外国人に利用してもらい、携帯電話による通訳システムの基盤も作ることができました。

また大勢の若いスタッフが事業に参加してくれ、即戦力になってきているのは何よりうれしく心強く、センターの将来に明るい光が見えるようになりました。「今まで警察は外国人を犯罪者として見ていたが、これからは市民として関わっていききたい」と埼玉県警組織犯罪対策課から協働の依頼があったことは今年の大収穫です。

大勢の人とたくさん関係機関の協力をいただいて、今年も満足のいく活動ができたことを心から感謝しています。ありがとうございました。

| 事業名           | 事業内容              | 実施日程・回数       | 実施場所        | 従事者          | 受益者           |        |
|---------------|-------------------|---------------|-------------|--------------|---------------|--------|
| 外国人の人権擁護と自立支援 | 生活相談              | 5日/週          | センター他       | 10名          | 663件          |        |
|               | シェルター             | 通年            | センター・県内     | 10名          | 23名           |        |
|               | DV講習会・生活相談勉強会     | 19回           | ふじみ野市・センター他 | 10名          | 50名           |        |
|               | パソコン教室            | 第2,4木曜23回     | センター        | 延66名         | 延138名         |        |
| 国際理解と国際交流の推進  | 国際理解社会教育          | 国際理解講座        | 19回         | 小中高校・公民館他    | 延40名          | 2,000名 |
|               |                   | 大学との協働        | 7大学         | 大学・県NPO活動推進課 | 5名            | 100名   |
|               | 語学教室              | 中国語教室         | 金曜・随時       | センター         | 延85名          | 延241名  |
|               |                   | 英語教室          | 木・火曜43回     | 西公民館         | 延43名          | 延264名  |
|               |                   | 韓国語教室         | 月・水曜        | センター         | 2名            | 延141名  |
| 多言語情報の収集と提供   | 生活情報誌の発行          | 12回           | センター        | 11名          | 4800部         |        |
|               | 生活ガイドHP維持管理       | 4回/年          | センター        | 6名           | アクセス数88,140件  |        |
|               | 翻訳                | 130件          | センター・県内     | 延130名        | 埼玉県民          |        |
| 日本語学習支援       | 日本語教室             | 48回           | センター        | 延192名        | 延240名         |        |
|               | 国際子どもクラブ          | 土曜・長期休暇中      | センター        | 延282名        | 延191名         |        |
| 子どもの健全育成      | 子どもの健全育成支援        | 月・水・金<br>288回 | 藤久保公民館他     | 延447名        | 延387名         |        |
| 行政との協働        | 行政との協働事業          | 8月～3月         | 県内          | 30名          | 埼玉県民          |        |
|               | NGO・NPO・日本語ネットワーク | 41回           | 県内          | 3名           | 埼玉県民          |        |
| その他           | 機関誌の発行            | 隔月            | センター        | 3名           | 6000部         |        |
|               | ホームページ            | 随時            | センター        | 1名           | アクセス数304,739件 |        |

## 1 外国人の人権擁護と自立支援

### ■1-1 生活相談

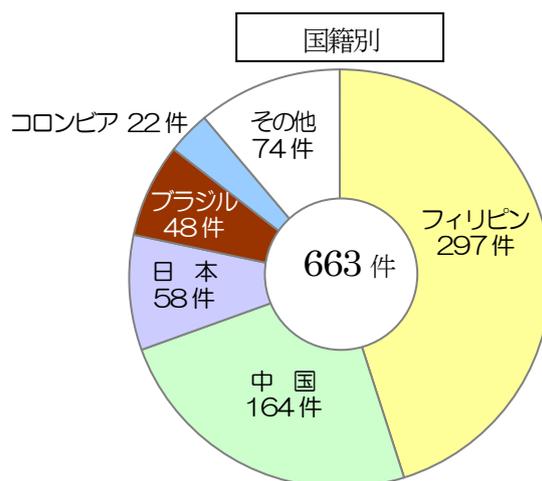
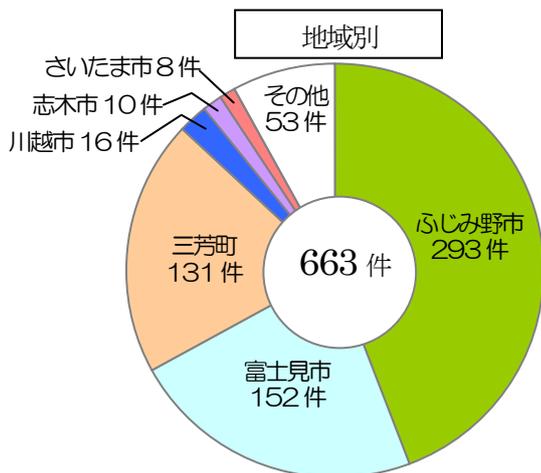
平成22年8月に上福岡からうれし野会館に引っ越しをしたために生活相談の件数が激減した。駅から歩いて20分という所は自転車や車を持たない人にとっては相談に来にくい場所なのかもしれない。家賃だけの理由で引っ越ししたことを後悔したりもしたが、平成23年1月を過ぎたころから利用者が増えつつある。

国際結婚にまつわる相談が多いのは毎年のことだが、最近は日本人夫の死にまつわる相談が増えている。もともと20歳も年の離れた日本人夫と結婚したわけで、夫の死亡に伴って親類縁者とのかかわりが生じ、葬儀・お墓・遺産・戸籍をめぐる様々ないざこざが起きている。

今年特に目立ったのは、かつてDV被害者として保護した母子が、私たちのアドバイスに反して実家に戻り、生活に困ってまた家を追い出されて相談に来た例が数件あった。将来のことも考えずにその時々で勝手に行動して相談を繰り返す人や、外国人を配偶者として迎えておきながら都合が悪くなると犬猫のように家から追い出す日本人夫やその家族にどう対応したらよいのか悩んでいる。

また15年の活動を通じて、在日外国人の中に、ある一定の割合で知的に問題がある人の存在を認めざるを得なくなった。日本人の障害に対しての検査は容易だが、外国語での検査ができる所は限られていて、知的障害者と認定するのが難しい。しかし彼らと日常的に付き合っていると言語がわからない以上に能力の限界を感じずにはいられない。日本が難民として受け入れた人や、配偶者ビザを与えた以上、生涯にわたって彼らを社会的に保障せざるを得ないのではないかと感じるようになった。

| 項目別 | 内容                           | 件数   |
|-----|------------------------------|------|
| 医療  | 医療費、病院へ同行（入院手続き等）、うつ、アルコール依存 | 52   |
| 家族  | 離婚、夫婦トラブル、交際相手、DV、子ども        | 92   |
| 教育  | 学校との連絡、日本語支援、学習支援、入園・入学手続き   | 199  |
| 言語  | 日本語指導、翻訳、通訳、代筆               | 94   |
| 司法  | 税金、犯罪、裁判・法務局対応支援、子どもの国籍      | 13   |
| 住居  | 住まい探し、引越しの手伝い                | 14   |
| 生活  | 生活費、生活保護、近隣関係、国民年金・保険手続き     | 97   |
| 入管  | ビザ、外国人登録証申請・更新、帰国、保証人        | 38   |
| 労働  | 求職、会社とのトラブル、技能修得、労働災害        | 49   |
| その他 | ボランティア希望、友達がほしい              | 15   |
| 合計  |                              | 663件 |



### ■1-2 シェルター

シェルターは、母親に連れてこられた子ども達も一緒に生活する。父親から虐待を受けた子どもも少なくない。小さな心や体が傷つけられ、それでも母親に寄り添い必死に生きる子ども達の姿はいじらしく、けなげである。

シェルター入所の間は、学校にも保育所にも行けない。入所した小学校 1 年生の男の子を連れて小学生を対象にした学習広場に参加した。最初はじっとして心を閉ざしていたが、日が経つにつれ大声をあげたり、大きな声で笑いあったりできるようになった。子どもは子どもの中で育てられることを再認識し、それを見守る大人の存在が大きいことを体験させてもらった。

母子が社会に適応し自立していくためには、行政との連携、協力はもちろん、シェルターでの細やかな生活支援が重要だ。そのためには、センター全体で母子の状況を共有し、必要な支援を明確にし、それぞれの活動を生かした支援を今まで以上にしていきたい。また子育てやお料理、人生相談などお茶を飲みながらの井戸端会議も、とても貴重である。センターでの場作りの努力が必要だろう。

現体制では、退所後の母子を必要な時に支えてくれるセンターの外での支援の輪が必要だと感じている。退所していった母子が幸せに夢を持って生きていって欲しい。そのためにスタッフはどう支援するべきか試行錯誤しながら活動している。

| 入所期間 | 4/13～<br>4/23 | 5/7～<br>5/18 | 5/28 | 6/9～<br>6/28 | 7/1～<br>8/2 | 9/21～<br>10/1 | 11/17～<br>11/26 | 12/2～<br>1/6 | 1/12～<br>1/13 | 1/19～<br>3/16 | 計   |
|------|---------------|--------------|------|--------------|-------------|---------------|-----------------|--------------|---------------|---------------|-----|
| 国籍   | 中国            | 中国           | ベトナム | フィリピン        | ベトナム        | フィリピン         | バングラディシュ        | フィリピン        | フィリピン         | タイ            | 10人 |
| 子ども  | 無             | 1人           | 1人   | 1人           | 1人          | 3人            | 1人              | 1人           | 2人            | 4人            | 15人 |
| 入所人数 | 1人            | 2人           | 2人   | 2人           | 2人          | 4人            | 2人              | 2人           | 3人            | 5人            | 25人 |

### ■1-3 DV講習会・生活相談勉強会

ボランティアとはいえ、生活相談者やシェルターのDV被害者に接するとき、相手の気持ちをより深く理解し、正しい情報を伝え、将来を見据えた良いアドバイスができるように、あらゆる機会を通して勉強している。

また今年も、先駆的でお手本にすべき他施設の訪問研修を行い、情のこもった指導を受けてきた。

|                 |                                  |
|-----------------|----------------------------------|
| 4/12            | 戸田むつみ荘視察研修                       |
| 5/19            | DV 担当者会議 (埼玉会館)                  |
| 5/25            | 保科先生勉強会                          |
| 6/9             | 岩槻ほっとポット視察研修                     |
| 7/5             | プラスワン講座 (市民活動支援センター)             |
| 7/14            | 外国人生活相談研修会 (北浦和)                 |
| 8/30            | 多文化共生セミナー (知事公館)                 |
| 9/28            | 保科先生勉強会                          |
| 11/26           | 入管法について (北浦和日本語センター)             |
| 12/11           | DV 被害者支援講座 講師: 遠山先生 (市民活動支援センター) |
| 1/12            | ふじみ野市児童虐待防止講座 (上福岡勤労福祉センター)      |
| 1/22、2/3、14、3/1 | NPO マネージメントセミナー (埼玉会館)           |
| 1/25            | 保科先生勉強会 (例題研究)                   |
| 2/15            | 関東弁護士会議「DV 講座」(弁護士会館)            |

|      |                              |
|------|------------------------------|
| 2/25 | DV 講座「DV 被害者について」(県庁第 3 庁舎)  |
| 2/27 | IP 演習のためのファシリテーター学習 (県立埼玉大学) |

■1-4 パソコン教室

前年度は通常の授業プラス特別授業を実施した。

5 月 OS の基礎、7 月 ブラインドタッチマスター、9 月 画像加工、12 月 年賀状作成

また 11 月より、従来の外国籍とスタッフを対象にしてきた授業に上限を 5 名までとして一般枠を設けた。

|     | 4 月 | 5 月 | 6 月 | 7 月 | 8 月 | 9 月 | 10 月 | 11 月 | 12 月 | 1 月 | 2 月 | 3 月 | 計     |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|------|-----|-----|-----|-------|
| 回数  | 2   | 2   | 2   | 2   | 1   | 2   | 2    | 2    | 2    | 2   | 2   | 2   | 23 回  |
| 学習者 | 12  | 9   | 11  | 14  | 5   | 7   | 11   | 15   | 16   | 15  | 10  | 13  | 138 人 |
| 講師  | 6   | 6   | 5   | 4   | 3   | 6   | 6    | 6    | 6    | 6   | 6   | 6   | 66 人  |

2 国際理解と国際交流の推進

■2-1 国際理解講座

|             |  |                        |
|-------------|--|------------------------|
| 6/11        | 川越市高階北小学校 6 年                          | サルマ・インドラニ・ニ・ヴァン        |
| 6/15        | ふじみ野市高齢者学級 (西公民館)                      | 石井                     |
| 6/15        | 鶴ヶ島市長久保小学校 6 年                         | インドラニ・マリフェ             |
| 6/25・7/2    | 富士見市勝瀬小学校                              | サルマ・インドラニ              |
| 7/27・28     | 大井社協との協働「ディスカバーワールド」                   | 伊勢谷・マリフェ・山崎            |
| 9/9         | 生け花インターナショナル埼玉大会 (ホテルブリランテ武蔵野)         | ナタリア・金子・インドラニ          |
| 10/22       | 富士見市関沢小学校 5 年                          | 金子・山畑                  |
| 10/28       | 富士見市関沢小学校 5 年                          | 金子                     |
| 11/24       | ふじみ野市元福岡小学校 5 年                        | 寺村・マリフェ                |
| 1/22        | ふじみ野市鶴ヶ丘小学校 6 年                        | 寺村・アニー・マリフェ・黄・新井・阿澄    |
| 1/25        | 富士見市鶴瀬台小学校                             | ジャッキーキグロー・寺村ヘキジョ       |
| 1/25        | 富士見市ふじみ野小学校「やさしい町作り」                   | 渡辺マリフェ                 |
| 1/26・28・2/1 | 暮らしの中の人権講座「ふじみ野ワールドクッキング」<br>(大井中央公民館) | 山崎・米倉・ビクトリア・新井・小原・石井   |
| 2/19・26     | ふじみ野市大井社会福祉協議会「Let's enjoy English」    | ダニエルマークス・ティムズラスト・山畑・上島 |

■2-2 大学との協働

「NPO も大学と同じ側に立って学生を導く」というスタンスで、提携を結んでいる大学はもとより、個人でボランティアを希望する学生を含めて、多くの大学生をインターンとして受け入れている。

誰もが普通の生活ができる社会になるように、一人でも多くの若者に在日外国人の実情を知ってほしいと思う。

|      |                                |
|------|--------------------------------|
| 4/30 | 埼玉大学サービスマーケティング事前授業 (埼玉大学教育学部) |
| 5/10 | 立教大学三本松先生他大学院生来所               |

|         |  |
|---------|--|
| 5/25    | 日本工業大学4年生6人来所                              |
| 5/28    | 日本工業大学1年生5人と大木先生来所                         |
| 5/29    | SSCS インターン8人の面接 〈センター〉                     |
| 6/5     | 埼玉県 NPO と大学との協働説明会 〈埼玉大学〉                  |
| 6/30    | 慶応大学小林先生来所                                 |
| 7/1     | 日本工業大学生との打ち合わせ 〈日本工業大学〉                    |
| 7/4     | SSCS 7期生報告会 〈立教大学〉                         |
| 7/12・13 | 埼玉大学浜本先生と学生来所                              |
| 7/29    | 県立さいたま大学若林先生 IP 演習打ち合わせ 〈センター〉             |
| 8/12    | 日本工業大学生来所                                  |
| 8/19    | 聖学院大学平先生と生徒来所                              |
| 8/20    | 埼玉大学浜本先生視察                                 |
| 9/30    | NPO と出会う 埼玉大学発表会                           |
| 10/4~7  | 県立埼玉大学 IP 演習 6名の学生を受け入れる                   |
| 11/19   | 日本工業大学訪問                                   |
| 11/28   | SSCS 中間報告会 〈立教大学〉                          |
| 12/22   | 日本工業大学生来所                                  |
| 12/27   | 「NPO と大学」役員会 〈知事公館〉                        |
| 2/4     | 埼玉大学教育学部サービスラーニング報告会 〈埼玉大学〉                |
| 2/20    | 埼玉県 NPO 課主催「大学生のための NPO 体験」〈With you さいたま〉 |

## ■2-3 語学教室

### 1) 中国語教室

生徒 241人 (月平均20人)

先生 85人 (月平均7人)

### 2) 英語教室

木曜日夜間の英語教室は、3～4人の少人数制で英会話の学習をしています。指導者の出身地が違うことから、語学学習を通してその国の文化についても知ることが出来る。

また、今年度は先生と2回食事会を行い、交流を図った。

全43回・延べ264名の参加

日時/毎週木曜日 午後7時～8時と8時～9時

場所/西公民館

講師/ハワイとフィリピン出身の2名

学習者/高校生から社会人の7名

### 3) 韓国語教室 (4月～8月)

月曜教室/109名 水曜教室/32名

うれし野会館への引越しに伴い 駅から遠くなった為に、9月から独立して他の場所で教室を開くことになった。

### 3 多言語情報の収集と提供

#### ■3-1 生活情報誌「インフォメーションふじみの」

今年は県下さまざまな地域に出かける機会が多く、そのつど「インフォメーションふじみの」を目にすることがあり、改めて本誌の持つ存在感を深めている。

情報誌発行にあたって毎年多大な資金のご援助をいただいている（株）オムテック社の存在もあり今季も通巻を163と伸ばすことができた。

内容は後述を参照いただくことになるが、毎月行ってきた編集会議にも海外から帰国された方、インターンシップで参加してくれた学生など新しいスタッフも増え、企画構成に斬新なものを登場させることができたと評価している。

また昨年から強力な執筆陣のお一人として参加してくださっている行政書士のお力添えもあり、記事内容に読者へのきめの細やかな配慮がうかがわれるのも本誌の特色になっている。

「インフォメーションふじみの」は、2市1町の各行政機関にくまなく配布されているが、新刊発行のつど前号の残り部数が少なくなってきたことを痛感する。理由はさまざまであろうが、外国籍市民の増加も、厳しい生活環境にあつてより身近で信頼しうる情報源としての役割を担い始めてきたのではないかと推察している。

ある配布先では決まって2部中国語翻訳のページだけをはずして持っていかれる方がいる。多言語の方も読まれるだろうからとの配慮かもしれない。貴重な定期購読者がここにもおられると思うと感慨深い。

富士見市では「広報 ふじみ」に数年前から毎月本誌の紹介をしていただいているが、本年も引き続き掲載いただいた。その影響なのか配布していなかった場所からのご連絡もあつて、新規に配布するという話題もあつた。

ホームページ (<http://www.ficec.jp/foreign/>) にも「外国語のページ」として掲載されているが、アクセス数も多くあるとの報告もあり、地域の情報誌ではあるが企画内容が広域的に活かされているという感覚を強くしている。

#### 1) 発行の概要

翻訳言語／中国語、英語、韓国語、ポルトガル語、タガログ語、スペイン語、日本語

発行回数／毎月1回 年12回 発行部数／4800部 発行日／毎月1日

配布場所／2市1町の公的機関。他に県下主要公的機関に郵送している。また各日本語教室にも受講生への配布をお願いしている。

活動内容／毎月1回第一火曜日を編集会議に充て内容の充実を図っている。

作業の流れ／企画決定⇒日本語原稿作成⇒翻訳依頼（一部アメリカへ）⇒受領⇒内容精査⇒印刷原稿作成⇒印刷⇒配布

スタッフ／企画・原稿作成・編集・印刷・配布関係で計7名 翻訳者／6名（6か国語）

#### 2) 各号の内容

○152号 4月号

離婚届不受理申出書・・・離婚したくないのに無理やり離婚手続きをされそうな時

その他（\*自転車盗難？ いいえ撤去でした \*呼び名にご注意 配偶者からの暴力に悩んでいる人へ \*外国籍市民の目 \*地上デジタル放送便乗の詐欺にご注意）

○153号 5月号

4月から中学生までの子どもに“子ども手当”が出されます

その他（\*公立高校4月から授業料が無料に \*外国籍市民のための賃貸住宅の借り方・住むときのルール \*外国籍市民の目 \*家電エコポイントの延長）

## ○154号 6月号

知っていますか？ 安心して出産できるよう「妊婦健診」や「出産」にかかる費用が少なくなっています。

その他（\*土曜日は国際子どもクラブへ来ませんか \*5月6日、1日遅れの端午の節句でした \*子ども手当の申請手続きが始まっています。もうお済ですか？ \*外国籍市民の目力\*大好評 梶先生のパソコン教室）

## ○155号 7月号

国際子どもクラブ、成績アップ、受験対策にも貢献中です。

その他（\*初めての体験 お茶摘みに行きました \*8月の日本語教室は「浴衣で七夕」です \*富士見市は子どもの医療費が中学卒業まで延長・助成されます \*地上デジタル放送の準備はOK?）

## ○156号 8月号

だれもが取れます、開けます。この資格で、お国自慢の味のお店をあなたも出せることを知っていましたか？

その他（\*「個別成人歯科検査」で、自分の歯の健康をチェックしてみませんか！ \*土曜日は「国際子どもクラブ」の日です。学習指導に全力を注いでいます。 \*日本語教室発 夏本番です！浴衣とそうめんを楽しむ会 \*外国籍市民の目 \*地震に備え避難場所の確認を！ ハザードマップをもらっておきましょう）

## ○157号 9月号

家族の健康は“幸せの出発点”大病をしないために市町村の健康診断を

その他（\*ふじみの国際交流センターは新住所に移転しました \*父子家庭の方も児童扶養手当が支給されます！ \*知っていましたか？ パワーアップした「外国人総合相談センター埼玉」 \*センター「日本語教室」のイベントで浴衣とそうめんを楽しむ会をやりました \*外国籍市民の目 \*ふじみ野駅周辺が10月から自転車などの放置禁止区域になりますのでご注意ください！）

## ○158号 10月号

台風シーズンです。自然災害から身を守るのは、あなたの「家族力」

その他（\*外国籍市民の目 \*もう、地デジ用アンテナをつけましたか \*国民健康保険証が更新されます \*家族でお出かけになりませんか 富士見市国際交流フォーラム）

## ○159号 11月号

さまざまな暴力に我慢している人は居ませんか DVは犯罪です

その他（\*外国籍市民の目 \*東京入国管理局さいたま出張所の移転 \*役所の窓口で携帯電話による無料の同時通訳事業がスタート \*平成23年4月の公立保育所・私立保育園の申し込みが始まっています）

## ○160号 12月号

問診票って何？ 病院の窓口に行くところなことを聞かれます

その他（\*携帯電話で通訳付きの生活相談が無料でできます \*児童扶養手当の申請がまだという方がいます \*生活保護を受けている方の健康診断を開始！ B型、C型肝炎ウイルス検査を受けましょう \*蕎麦打ち体験をしませんか？ 12月16日 {金} \*日本語を勉強にいらしてください。少し歩きますが新しい教室がみなさんを待っています）

## ○161号 1月号

入管法が改正されました PART1

その他（\*2市1町、近くの体育館を選んで使えます \*自転車をやたらに止められない地域です \*役所での相談を携帯電話で通訳します \*外国籍市民の目 \*日本語を勉強にいらしてください。少し歩きますが新しい教室がみなさんを待っています）

## ○162号 2月号

入管法が改正されました PART2

その他（\*小・中学校の入学説明会が始まっています \*救急休日診療所の場所を知っていますか \*携帯電話で通訳します \*日本語を勉強にいらしてください。少し歩きますが新しい教室がみなさんを待っています）

○163号 3月号

### 養子縁組した子のビザ・国籍はどうなる？

その他（\*子宮けいがん予防ワクチン接種が無料に！！ \*「国際フェスティバル」に参加しませんか \*外国籍市民の目 \*翻訳者募集！！ 母国語への通訳をしてくださる方を募集しています \*大井日本語クラス 弁天の森サロンの日本語の勉強が「うれしの会館」でできます）

## ■3-2 生活ガイドホームページ

2市1町より更新情報の提供を受け、翻訳、html書き込み、画像化処理等を行い、ウェブにアップロードした。

平成22年5月

- ・発注者：富士見市およびふじみ野市
- ・本文 1/5・2/4・3/2・4/2・6/7・12/6・13/5・17/2・17/3・17/7・18/2・19/1・20/3・20/5・21/1・21/2・22/2・22/4
- ・施設編：23/1・23/2・24/1・24/5・24/6・25/1・26/1
- ・医療機関：27/1・27/2・27/3
- ・対象言語：日本語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語
- ・更新時期：6月19日

平成22年10月

- ・発注者：ふじみ野市
- ・本文 1/6・17/2・17/3・17/6・19・19/1・21/1・22/2・22/4 (4), (5), (6), (7), (9), (10)
- ・施設編：25/4・25/5
- ・対象言語：日本語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語
- ・更新時期：11月

平成23年3月

- ・発注者：ふじみ野市および富士見市
- ・本文 1・1/1・1/2・1/6・5/1・6・6/4・9/2・9/3・12/2・12/4・12/5・12/7・13/5・15/1・16/5・17/1・17/2・17/3・17/4・17/5・17/6・17/7・18/1・18/2・18/3・18/4・18/5・19・19/1・19/2・20/2・20/4・20/5・20/6・21/1・
- ・施設編：23/2・23/3・24/1・24/5・24/6・25/5
- ・医療機関：27/1・27/2・27/3（ふじみ野市）
- ・対象言語：日本語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語
- ・更新時期：23年3月末～4月18日（最終）

課題

- ・今年度は5月、10月、3月と更新依頼件数が夫々増加した。
- ・今年度の特徴は地名変更に伴う住所表示の更新と市役所内の組織変更に伴う課名・係名の更新、更にふじみ野市の医療機関リストの更新作業が加わり、翻訳および画像化の作業量が増加した。
- ・東日本大震災に対応した迅速な情報提供が求められたが、現在のシステムでは出来なかった。今後の検討課題である。

### ■3-3 翻訳

#### 1) 行政からの依頼

- ・ふじみ野市 2 件  
ふじみ野市生活ガイド（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語）  
ふじみ野市「ゴミの出し方」（英語・中国語・韓国語・タガログ語・ポルトガル語・タイ語）
- ・富士見市 1 件  
国際フォーラムの案内（英語・中国語・ポルトガル語） 1 件
- ・三芳町 1 件  
23 年度健康カレンダーの翻訳（英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・タガログ語）
- ・埼玉県 1 件  
「DVのない社会に」（タガログ語・中国語・ハンゲル・ポルトガル語・スペイン語・英語）

#### 2) 一般市民からの依頼 146 件

- ・フィリピン 120 件、日本 1 件、パキスタン 8 件、中国 16 件、オーストラリア 1 件
- ・翻訳内容（出生証明、婚姻証明、戸籍謄本、離婚証明、ビザ申請など）

## 4 日本語学習事業

### ■4-1 日本語教室

- ①センターの日本語教室は駅から近いこともあって、木曜日という開催日にもかかわらず多くの学習者が訪れていた。前半期には最高 13 人という学習者を見、センターの教室スペースを超過する活気を示していた。主に主婦の方が多く週平均でも 8.2 人という数字となっていた。中でも記憶に残る家族では、義務教育を超えたお嬢さんで高校入学を目指す、パキスタンの親子が熱心に通学、学習していた。それに合わせて指導されたボランティアの情熱が合格を勝ち取るという素晴らしい実績を残した。学年末の成績を見せに来てくれたが、学年トップの位置にある成績をとっていた。  
一方、本年も同様に高校進学を目指す中国のお嬢さんが毎週欠かさずセンターで学習してきた。指導に当たるボランティアも、実力養成から高校選択、手続きと合格に必要な一切を情熱を持って指導された実績は、センターの実力と改めて認識している。この学習者も見事高校に合格させている。
- ②8 月以降は、センター事務所の移動や日本経済の不況、天災等、様々な要件がマイナスとなって重なり、学習者は極端に減少している。最少数 4 名、最小 2 名という数字を示しているが、少しずつだが定着した人数で増加傾向を見せてはいる。今後教室の所在意識定着が図れることで学習者も多くなることを期待している。
- ③ボランティア指導者については、希望者が多くなっている。電話連絡によるもの、来訪して体験していただくケース、HP を見て問い合わせるものとさまざまだが、昨今の学習者数から希望通りの体験をしてもらえず、センターのタスクフォースとして登録していただく。同時に近隣の教室を紹介し希望に沿う形に近づける活動も行っている。
- ④学習者の学習機会を多くするために、「東上線沿線日本語教室案内」の作成も企画として盛り込んだ。しかし今年度の完成には間に合わず、次年度早めの完成予定となった。
- ⑤日本文化を体験していただくイベントも予定通り実施することができたが、後半事務所の手狭さも相まって実施できない企画もあった。今後会館全体のスペース利用も考えてできるだけ学習者の期待に添えるよう工夫して行きたい。

## ○2010年4月～8月

毎週木曜日10時から12時まで。(以下同)

本年は社会情勢の変化に伴うためか、一部の教室をのぞき学習者が増える傾向にあるようである。また日本語検定の資格を取得しようという学習者も増加の様相を呈している。ただ、この教室は生活レベルの日本語早期習得を願うことであり、聴解(話すことを主とする)を優先させていきたいと考えている。

- ・開講回数…20回
- ・学習者数・・・1週平均 8.2人 週最多 13名 最少 5名 (風雨のため)
- ・会議・・・日本語協議会 (当番)
- ・講師・・・平均 4人

## ★日本文化を味わってもらおう事業

- 1、5月6日 端午の節句 柏餅・兜作り・記念写真撮影
  - 2、8月5日 七夕を浴衣とソーメンで楽しむ会・記念写真撮影会
- ・特記事項

8月26日 転居日のため休み。学習者が手伝ってくれた。

## ○2010年9月～12月

- ・開講回数…15回
- ・学習者数・・・1週平均 3.4人 週最多 4名 最少 3名
- ・講師・・・平均 4人

## ★日本文化を味わってもらおう事業

移転後学習者が少ないため、イベントは考えるができないことが多い。秋にお月見を考えたが夜は来られないということで中止。恒例の蕎麦打ちは12月16日に戸塚講師ご夫妻での指導で無事終了した。

## ○2011年1月～3月

- ・開講回数…13回
- ・学習者数・・・1週平均 2.7人 週最多 4名 最少 2名
- ・講師・・・平均 4人

## ★日本文化を味わってもらおう事業

昨年は「豆まき」「ひなまつり」と実施したが、事務所のスペース、人数の関係で中止になることが多かった。今後は、日本人スタッフを含めて受講生と一緒に楽しめるものを考えていきたい。

## ■4-2 国際子どもクラブ

## ①学習者の減少。

高校進学 of 学習者は部活や授業のため、土曜日の参加ができなくなる。

上福岡からうれし野会館への引っ越しにより、小学生の学習者が減少。(9月以降:1名)

しかし、援助の必要な子どもはいる為、どう取り上げていくかが今後の課題。

②学習者は主に中学生。今年度は高校受験生が3名おり、個々のニーズにあった学習支援を行う。公立高校過去問題、英語のリスニング、日本の地理・歴史など。他の学習支援教室も通う熱心な子供もおり全員、希望高校に合格。

## ③行事

クリスマス会、進学・進級お祝い会を実施

## ④ボランティアのミーティングを実施

学習者個々の日本語や勉強の進捗状況・問題点・今後の進め方などボランティア同士が情報を共有してよりよい学習支援ができるよう、意見交換の場を設けた。

|        | 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 1月 | 2月 | 3月 | 合計   |
|--------|----|----|----|----|----|----|-----|-----|-----|----|----|----|------|
| 学習者    | 15 | 25 | 15 | 30 | 16 | 11 | 7   | 16  | 13  | 19 | 16 | 8  | 191人 |
| ボランティア | 28 | 33 | 32 | 37 | 37 | 16 | 23  | 19  | 17  | 19 | 12 | 9  | 282人 |

- ・期日－毎週土曜日と夏休みは火、土曜日 10時から12時
- ・対象者－外国籍児童生徒 月平均16人が参加
- ・内容－日本語を母語としない児童生徒の日本語指導、学習支援、高校受験対策等
- ・ボランティア－主に7人のボランティアが活動

## 5 子どもの健全育成事業

### ■5-1 子どもの健全育成支援

#### 1) 目的

埼玉県社会福祉課の業務委託を受け、「三芳町子ども学習広場」に「子どもの健全育成支援専門員」を派遣し、児童・生徒の生活指導と学習支援を行う。

#### 2) 実施内容

実施期間及び場所：毎週月・水・金曜日、藤久保公民館（又は集会所）

小学生クラス：15～17時、中学生クラス：19～21時

スタッフ：支援専門員各クラス2名、ボランティア補助支援員12名

片親が外国籍または外国系の家庭で、日本語を母語としない児童・生徒を主たる対象として、生活指導と学習支援を通じ、健全育成を行なった。

#### 3) 実績

開催回数

| 月 | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 計    |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 小 | 13 | 11 | 13 | 12 | 13 | 11 | 12 | 12 | 10 | 9  | 11 | 12 | 139回 |
| 中 | 13 | 12 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 10 | 11 | 12 | 13 | 149回 |
| 計 | 26 | 23 | 26 | 25 | 26 | 24 | 25 | 25 | 20 | 20 | 23 | 25 | 288回 |

支援対象児童・生徒数

| 月 | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 計    |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 小 | 11 | 10 | 12 | 11 | 8  | 9  | 13 | 12 | 12 | 11 | 13 | 14 | 136人 |
| 中 | 21 | 21 | 21 | 21 | 19 | 19 | 22 | 24 | 21 | 19 | 18 | 25 | 251人 |
| 計 | 32 | 31 | 33 | 32 | 27 | 28 | 35 | 36 | 33 | 30 | 31 | 39 | 387人 |

ボランティア補助支援員数

| 月 | 4  | 5  | 6  | 7  | 8  | 9  | 10 | 11 | 12 | 1  | 2  | 3  | 計    |
|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|------|
| 小 | 12 | 11 | 18 | 16 | 16 | 11 | 16 | 10 | 8  | 7  | 12 | 12 | 149人 |
| 中 | 27 | 27 | 24 | 19 | 19 | 18 | 13 | 25 | 33 | 36 | 27 | 30 | 298人 |
| 計 | 39 | 38 | 42 | 35 | 35 | 29 | 29 | 35 | 41 | 43 | 39 | 42 | 447人 |

## 6 行政との協働

生活相談やHPの作成の業務委託をはじめとしてふじみ野市・富士見市・三芳町との関わりは深く、お互いの信頼と尊敬のもと今年もたくさんの事業を行った。国内の大半のNPOが「行政担当者の顔が見えない」と悩んでいるのに比べ、ふじみの国際交流センターは恵まれていると実感している。

今年はそれに加え、埼玉県と2件の協働事業をすることができた。アドバイスや情報提供・各市町に対する信頼だけでなく、「携帯電話による通訳システム」づくりに150万円、「7か国語の生活情報クリップ」の作成に78万円という助成金をいただいた。勿論ふじみの国際交流センターの負担が80万円あったわけだが、多額の費用が掛かるために実現できなかった長年の夢を実現することができたことをとても喜んでいる。

### ■6-1 行政関係会議

|       |   |
|-------|---|
| 4/7   | 富士見市室長来所                                      |
| 4/14  | ふじみ野市住民自治条例策定委員会〈大井支所〉                        |
| 4/20  | 県福祉課と三芳町職員を含む三者による「三芳子どもの教室」について顔合わせ          |
| 4/26  | まちづくりまちおこし学会議〈文京学院大学〉                         |
| 5/12  | ふじみ野市住民自治条例策定委員会〈大井支所〉                        |
| 5/13  | ふじみ野市人権委員会〈大井支所〉                              |
| 5/17  | ふじみ野市要保護児童担当者会議〈ふじみ野市役所〉                      |
| 5/24  | まちづくりまちおこし学会議〈文京学院大学〉                         |
| 5/28  | ふじみ野市住民自治条例策定委員会〈ふじみ野市役所本庁舎〉                  |
| 5/31  | 県福祉課と打ち合わせ〈弁護士会館〉                             |
| 5/31  | ふじみ野市人権関係会総会〈ふじみ野市第二庁舎〉                       |
| 6/4   | まちづくりまちおこし大学 あやめ祭打ち合わせ〈文京学院大学〉                |
| 6/14  | まちづくりまちおこし大学 あやめ祭準備会〈文京学院大学〉                  |
| 6/21  | まちづくりまちおこし大学打ち合わせ〈文京学院大学〉                     |
| 6/25  | ふじみ野市住民自治条例策定委員会〈ふじみ野市役所本庁舎〉                  |
| 7/1   | 富士見市職員と国際フォーラムについて打ち合わせ〈センター〉                 |
| 7/22  | 婦人相談センター所長・副所長来所                              |
| 9/13  | まちづくりまちおこし学会議打ち合わせ〈文京学院大学〉                    |
| 10/2  | まちづくりまちおこし学会議 講座第1回〈文京学院大学〉                   |
| 10/16 | 文京大学あやめ祭「世界の料理」                               |
| 10/30 | まちづくりまちおこし学会議 講座第2回〈文京学院大学〉                   |
| 11/14 | 富士見市「国際フォーラム」                                 |
| 11/17 | 2市1町国際化推進会議                                   |
| 11/20 | まちづくりまちおこし学会議 講座第3回〈文京学院大学〉                   |
| 11/27 | まちづくりまちおこし学会議 講座第4回〈文京学院大学〉                   |
| 1/17  | ふじみ野市大井地区ボランティア連絡会議〈大井社協〉                     |
| 1/29  | ふじみ野市市民活動交流会「よいひと よいまち つなげようふじみ野パワー」〈上福岡西公民館〉 |
| 2/23  | ふじみ野市上福岡地区ボランティア連絡会議〈フクトピア〉                   |
| 3/22  | 要保護児童連絡会議〈フクトピア〉                              |

|      |                 |
|------|-----------------|
| 3/25 | ふじみ野市庁舎のあり方審議会  |
| 3/29 | 新しい公共について〈埼玉県庁〉 |

■6-2 埼玉県協働提案事業

1) 携帯電話通訳事業

平成22年度NPO協働提案推進事業として埼玉県県民生活部国際課と協定を締結。補助金（150万円）の交付を受けて国際課と協働で事業を推進した。携帯電話回線で電話会議システム（ハンズフリー通話）のシステムを利用し、日本語がわからない外国籍市民が行政窓口に来たときに、同国人が通訳することにより、社会の仕組みや制度を正しく理解してもらう事が目的の事業である。

事業の流れ：

1. 自治体との関係

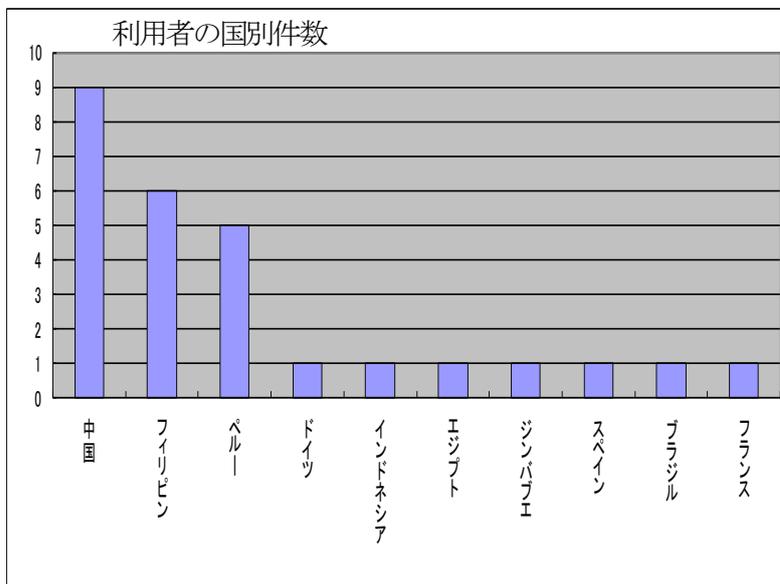
- ① 説明会の実施（通訳システムと機材の使用方法）40市町担当者参加  
8/24 松山地方庁舎 8/25 川越庁舎 8/31 県庁
- ② 希望自治体15のうち9市町（朝霞市・三郷市・川越市・飯能市・東松山市・加須市・滑川町・川口市・蕨市）を決定。機材の搬入と関係者を集めての説明会
- ③ 9/21 通訳開始 月～金曜日 12時～17時 通訳者10人  
英語・タガログ語・中国語・ポルトガル語・スペイン語対応
- ④ 10月上旬 確認書の送付と利用状況の確認  
中旬 5カ国語のチラシを作成し地域住民に対してのPRの依頼をする  
下旬 利用状況の確認
- ⑤ 11月上旬 チラシを入れるラックを持って9市を訪問、さらなるPRをお願い
- ⑥ 2月上旬 6ヶ月を振りかえってのアンケートの依頼送付
- ⑦ 2/28 通訳事業終了、非継続の5市町から機材回収  
(蕨・滑川・東松山・三郷とは、3月をサービス月間として通訳業務を続行)

2. 通訳者との関係 ①7月上旬 面接・契約書の取り交わし

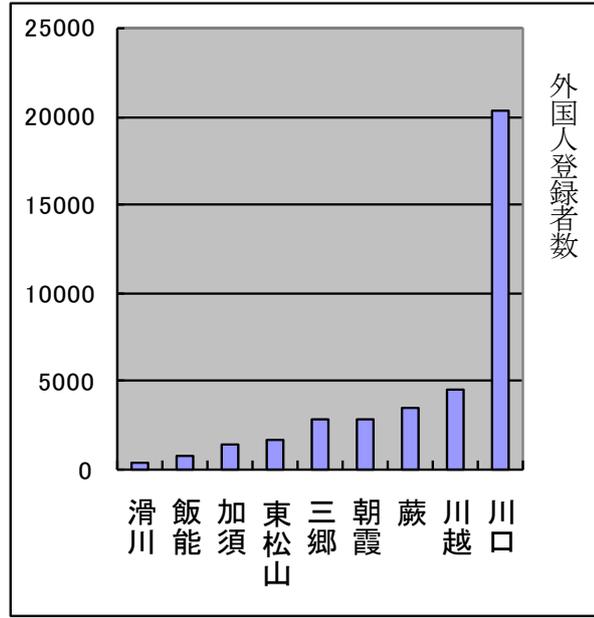
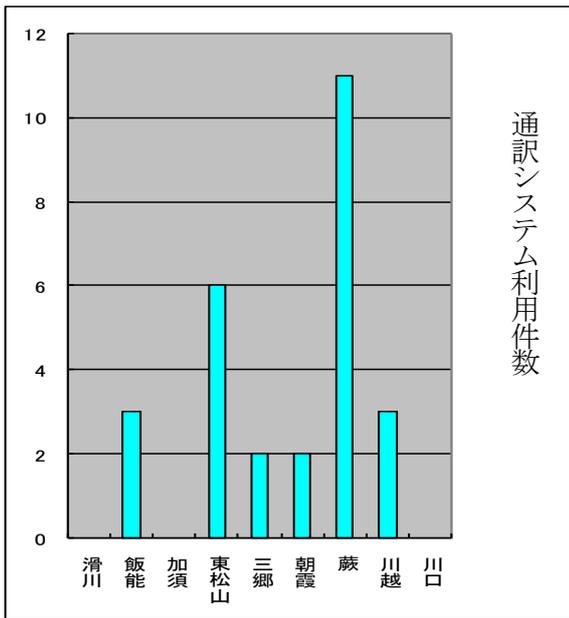
- ① 通訳者研修日程：8/10、17 9/11、20 10/6 11/4 12/7 1/18 2/12、27  
内容 行政用語・挨拶・電話対応・  
リスクマネジメント・個人情報  
保護法他

3. その他の広報活動

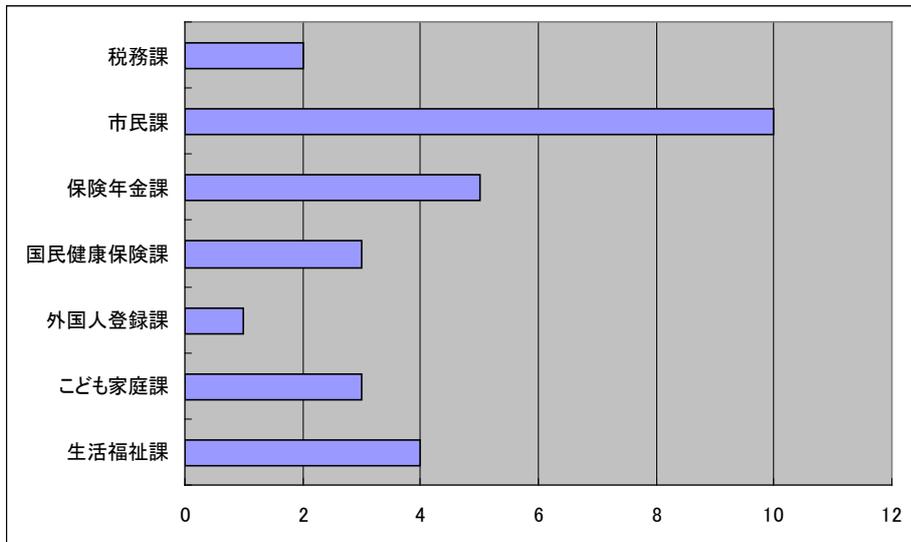
- ① 10月上旬 9市町内の外国食材店を訪問、チラシを置かせて貰う
- ② 10月中旬 9市町内の日本語教室に5カ国語のチラシを郵送
- ③ 10月下旬 埼玉県国際フェアや川越国際フェスティバルでチラシの配布



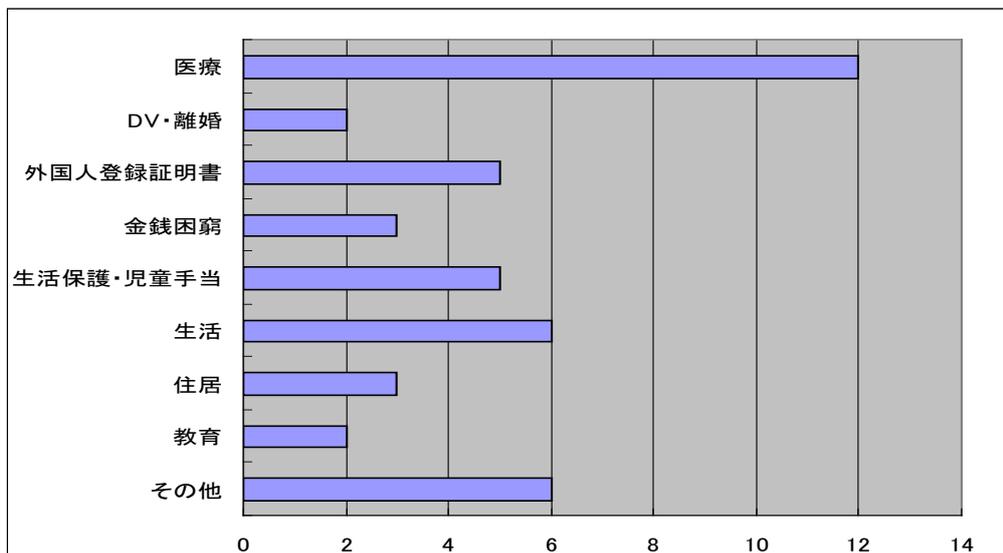
【実績】



担当課別依頼元 (単位/件)



窓口対応内容 (単位/件)



## 【課題】

利用自治体のアンケートの回答から、課題として浮かび上がってきたのは下記の2点である。

- ①在日外国人にこのシステムが始まったことを知らせる方法
- ②庁内の職員の皆さんにこのシステムが始まったことを知らせて利用してもらう方法

利用件数が増えなかった原因に広報活動の難しさがあげられる。

協働事業として、国際課の強力なバックアップがあったため、各利用市町村への働きかけはスムーズに進んだものの、件数としては少なく、課題も残された。しかし、この事業は外国籍市民の自立支援を行っているNPOとして、その基本理念に照らしてふさわしい事業である。この事業を運営するために今必要なことと、今後行わなければならない準備とは何かを常に考えて行動することが、契約を継続する事を申し込んでくれた4市町を含め今後の事業の発展につながると考える。

## 2) 7か国語による快適生活情報クリップ

## 1.事業の目的／

日本語にまだ慣れていない外国籍市民や生活困窮者を自立させるという課題の解決に向けて、実体験から生まれた問題解決の具体案を解説し自立の姿勢を創出することを目的として7か国語による生活情報案内を作成した。

## 2.事業の内容／

## ①企画会議〈8月より毎月2回の編集会議〉

「7か国語による快適生活情報クリップ」制作実施にあたり、企画会議を開き、内容再確認、依頼者の選定（翻訳者・デザイナー・イラストレーター・版下作製者等）をした。企画会議の開催についてはスタッフ会議が毎週あることを踏まえ同時に開催し内容および進行を検討した。

## ②決定した翻訳者に翻訳部分の内容説明〈8月から9月〉

## ③7か国語&amp;イラスト関係の原稿依頼〈9月から11月〉

## ④6か国語分原稿・イラスト受領・校正・チェック（国際課との協働）

## ⑤版下作製（7か国語分・パソコン打ち込み）〈11月から1月中旬〉

## ⑥初校校正（編集部・翻訳者・国際課）〈1月中旬〉

## ⑦再校校正（編集部・翻訳者・国際課）〈1月下旬〉

## ⑧「7か国語による快適生活情報クリップ」完成〈2月下旬〉

国際課と共に発送先・部数を確認・発送（県下市町等65か所に実施）。県庁内に関しては国際課が担当。各市町への発送部数および発送手続きを国際課との協働で実施した。



## 3.事業の成果／

生活相談を担当するボランティアは、日常発生する生活相談に常に共に動いて解決に向かっている。しかし、外国籍市民の相談者が日本語能力の欠如から意思の疎通に時間がかかることもまれではない。母国語で理解することの重さも良く理解している。そうした環境の中で本書が自立を後押しする生活支援担当者の手助けになると考えられるし、生活相談を受ける当人にとっても理解が進む1冊になるだろう。

併せて、本書で紹介された内容は、過去15年間で培われた実績の結果でもあり、これからぶつかるであろう相談内容についての指示書ともなるものだ。

## ■6-3 NGO・NPO・日本語ネットワーク

15以上のプロジェクトを抱えるふじみの国際交流センターが関係する県内外のネットワークの数が年々増えて

いる。様々なネットワークに加入し大勢の人たちと知り合い、そこからたくさんの情報とNPO活動に対する情熱を学ばせていただき、普段の活動に反映させていきたい。

|       |  |
|-------|--|
| 4/5   | 埼玉県国際交流協会〈北浦和地方庁舎〉                                 |
| 4/17  | 清瀬市日本語教室スタッフ視察来所                                   |
| 4/23  | 南西部地域振興センターNPO ネットワーク会議 〈朝霞〉                       |
| 5/2   | NPO リバティ映画会〈上福岡西公民館〉                               |
| 5/7   | 婦人相談センター職員来所                                       |
| 5/20  | 清瀬市議・民生委員来所（生活相談事業立ち上げについて）                        |
| 5/21  | 埼玉県国際交流協会スタッフ会議〈北浦和地方庁舎〉                           |
| 5/27  | 東部福祉事務所 SW 来所                                      |
| 6/22  | 県庁男女共同参画室職員来所                                      |
| 6/24  | 「パブリックビジネス研究会」〈鶴ヶ島市民活動推進センター〉                      |
| 6/29  | 大井地区ボランティアネットワーク会議〈総合福祉センター〉                       |
| 6/30  | 埼玉県 DV 支援ネットワーク会議〈埼玉教育会館〉                          |
| 7/11  | NPO リバティ映画会参加〈上福岡西公民館〉                             |
| 9/28  | NPO 大賞 PR の為のラジオ収録〈浦和合同庁舎〉                         |
| 10/15 | 和光子育てネットワークへの協力                                    |
| 12/15 | さいたま NPO センター主催「ネットワーク埼玉 21 運動」に労働組合員 15 人が視察のため来所 |
| 1/14  | 子どもの日本語学習会議〈北浦和日本語センター〉                            |

2市1町日本語教室ボランティアネットワーク会議

| 開催日      | 幹事日本語クラス     | 開催場所         |
|----------|--------------|--------------|
| 4/8(日)   | ふじみの国際交流センター | ふじみの国際交流センター |
| 7/11(日)  | 大井日本語クラス     | 大井中央公民館      |
| 10/17(日) | 上福岡日本語教室     | 上福岡西公民館      |
| 1/16(日)  | 富士見日本語サークル   | 鶴瀬西交流センター    |

NGO ネット・彩の国南西部地域 NPO 連絡会

| 開催日  | 種別                        | 場所          | 内容                                  |
|------|---------------------------|-------------|-------------------------------------|
| 4/15 | NGO ネット定例会                | YMCA 浦和センター | 3 者会の今後の在り方について、他                   |
| 5/11 | 3 者会                      | 県国際交流協会     | 3 者会廃止の方向、7/13 に最終決定                |
| 5/11 | NGO ネット定例会                | コムナーレ 9F    | 総会準備                                |
| 6/14 | NGO ネット総会・定例会             | YMCA 浦和センター | 総会                                  |
| 7/13 | 3 者会                      | 県国際交流協会     | 3 者会廃止、彩の国さいたま国際交流・協力ネットワークに発展的に移行、 |
| 7/13 | NGO ネット定例会                | コムナーレ 9F    |                                     |
| 7/27 | 彩の国さいたま国際交流・協力ネット<br>全体会議 | 日本語国際センター   | NGO 幹事団体：FICEC、YMCA、メイ朝霞センター        |
| 9/6  | NGO ネット定例会                | YMCA 浦和センター |                                     |
| 9/8  | 彩の国南西部地域 NPO 連絡会          | 朝霞市産業文化センター | 第 4 回運営委員会                          |
| 9/21 | 彩の国南西部地域 NPO 連絡会          | 新座子育てネット事務所 | 2 市 1 町の現場研修会事前打合せ                  |

|          |                   |                       |                                   |
|----------|-------------------|-----------------------|-----------------------------------|
| 10/2     | 彩の国南西部地域 NPO 連絡会  | 新座ホッとプラザ多目的会議室        | 第 2 回現場研修会出席                      |
| 10/6     | 彩の国南西部地域 NPO 連絡会  | 朝霞県土整備事務所会議室          | 第 5 回運営委員会                        |
| 10/23~24 | 埼玉県国際交流協会         | さいたま新都心けやき広場          | 国際フェア                             |
| 11/29    | 彩の国南西部地域 NPO 連絡会  | 和光市役所 5 階会議室          | 現場研修会第 3 回 講演会<br>「新しい公共と第 3 者評価」 |
| 12/10    | 彩の国南西部地域 NPO 連絡会  | 鶴瀬西交流センター             | 現場研修会第 4 回 2 市 1 町<br>「市民活動団体交流会」 |
| 1/8      | 彩の国南西部地域 NPO 連絡会  | 朝霞市産業文化センター           | 第 2 回彩の国南西部地域 NPO 交流大会            |
| 1/11     | NGO ネット定例会        | コムナーレ 9F              | グローバルセミナー2011 打合せ会                |
| 2/2      | 彩の国さいたま国際交流・協力ネット | 狭山市市民会館               | 西部地区意見交換会                         |
| 2/8      | 彩の国南西部地域 NPO 連絡会  | 朝霞県土整備事務所会議室          | 第 8 回運営委員会                        |
| 2/26     | NGO ネット           | 北浦和ターミナルビル<br>カルタスホール | グローバルセミナー2011 「海外の現場から学ぼう」        |
| 3/29     | 彩の国さいたま国際交流・協力ネット | 埼玉県国際交流協会             | 第 3 回幹事会                          |

## 7 その他

### ■7-1 機関誌「ハローフレンズ」

#### 1) 各号の内容

○2010年4月号(第108号)

- ・「日本語の教え方とコミュニケーション」講座を全10回で開催
- ・ふじみ野市教育委員会主催「ふじみ野レストラン」が盛況で開催
- ・FICECのパソコン教室
- ・入管法ひとくちノート(8)

○2010年6月号(第109号)

- ・総会およびシンポジウムを開催
- ・データで見る外国籍市民
- ・フィリピンの人たちから学んだこと
- ・入管法ひとくちノート(9)

○2010年8月号(第110号)

- ・ふじみの国際交流センター移転のお知らせ
- ・ふじみの国際交流センター2009年度の活動報告
- ・「外国籍の子どもたちへの日本語教育」をテーマにシンポジウム
- ・入管法ひとくちノート(10)

○2010年10月号(第111号)

- ・富士見市「国際交流フォーラム」開催
- ・「携帯電話を利用した同時通訳事業」をスタート
- ・他団体の活動紹介「多文化共生センター東京」
- ・インターンシップとしてFICECで見たこと
- ・入管法ひとくちノート(11)

○2010年12月号(第112号)

- ・異文化交流と国際ボランティアの祭典「かわごえ国際交流フェスタ」開催

- ・ FICEC の活動紹介 富士見市の小学校で国際理解講座
- ・ 市民と学生が協力して外国人のための生活マップづくり
- ・ 外国人登録者数の現況
- ・ 入管法ひとくちノート (12)

○2011年2月号(第113号)

- ・ ふじみの国際交流センター「ボランティアの集い」開催
- ・ 「DV 被害者支援ボランティア育成講座」を開催
- ・ 日本語教室で年末恒例の「蕎麦打ち」
- ・ 地域の日本語教室紹介
- ・ 日本工業大学の学生が NPO のためのソフト開発
- ・ 外国人サポートの現場から (1)

○2011年4月号(第114号)

- ・ 「携帯電話での通訳サービス」が埼玉県内 14 ヶ所の自治体窓口でスタート
- ・ 国際子どもクラブの活動
- ・ 外国人サポートの現場から (2)
- ・ 国際交流フェスティバル開催 (5月28日)

2) 記事内容の改善点について

これまで、「ハローフレンズ」ではセンターの活動内容を中心に記事を掲載してきたが、目を外部にも向けて、外部の多文化共生に関する活動についても紹介していくことになった。10月号からそうした試みを行っているが、今後もこの方向を継続する予定。

また、行政書士の藤林美穂さんに執筆していただいている「入管法ひとくちノート」は、12月号で一区切りし、2月号からは新たに「外国人サポートの現場から」というタイトルで新シリーズを開始した。中心執筆者は藤林さんで、これまでよりも広く外国人サポートの現場で起きている事柄について取り上げるページとした。

■7-2 ホームページ

1) 別アクセス件数

|          | 全体のアクセス件数 | トップページ等 | 生活ガイドホームページ | インフォメーションふじみの | 外国料理 | ニューズルーム | 統計のページ |
|----------|-----------|---------|-------------|---------------|------|---------|--------|
| 2010年4月  | 19,191    | 1,633   | 5,574       | 8,285         | 625  | 530     | 492    |
| 2010年5月  | 23,831    | 2,299   | 6,198       | 10,738        | 670  | 790     | 703    |
| 2010年6月  | 20,667    | 2,044   | 5,859       | 8,596         | 694  | 958     | 490    |
| 2010年7月  | 25,453    | 2,003   | 7,229       | 11,121        | 763  | 1,169   | 596    |
| 2010年8月  | 24,663    | 1,831   | 6,414       | 12,055        | 687  | 1,185   | 468    |
| 2010年9月  | 27,962    | 2,311   | 7,420       | 13,593        | 580  | 1,291   | 431    |
| 2010年10月 | 23,898    | 1,987   | 5,988       | 10,970        | 694  | 1,421   | 518    |
| 2010年11月 | 29,152    | 2,232   | 8,622       | 12,182        | 616  | 1,689   | 591    |
| 2010年12月 | 24,522    | 2,023   | 6,826       | 10,017        | 429  | 1,653   | 440    |
| 2011年1月  | 27,463    | 1,976   | 8,223       | 11,675        | 448  | 1,435   | 488    |
| 2011年2月  | 28,752    | 1,896   | 9,646       | 11,654        | 457  | 1,650   | 549    |
| 2011年3月  | 29,185    | 2,096   | 10,141      | 11,074        | 435  | 1,381   | 501    |

## 2) 特記事項

## ①アクセス数の状況

- ・全体のアクセス件数は徐々に増加傾向にある。
- ・生活ガイドホームページは、アクセス件数が安定している。
- ・最近、アクセスが多いのが「インフォメーションふじみの」で、pdfファイルへのアクセスが非常に多い。
- ・「ニュースルーム」へのアクセスも増加している。

## ②「ハローフレンズ」をhtml化して掲載

- ・8月号あたりから、徐々に記事をhtml化して掲載している。  
pdfは全体をダウンロードしないと読めないがhtmlなら記事ごとに読める。
- ・「ニュースルーム」へのアクセス増加は、html化によるものと思われる。
- ・当初、「入管法ひとくちノート」をhtml化していたが、10月号からは、すべての記事をhtml化して掲載することにしている。

## ■7-3 センター利用

|       | 4月  | 5月  | 6月  | 7月  | 8月  | 9月  | 10月 | 11月 | 12月 | 1月  | 2月  | 3月  | 計    |      |
|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|------|
| 開館日数  | 30日 | 23日 | 28日 | 27日 | 23日 | 25日 | 26日 | 24日 | 24日 | 22日 | 24日 | 25日 | 301日 |      |
| 相談・来訪 | 外国人 | 130 | 152 | 149 | 173 | 106 | 89  | 72  | 84  | 86  | 73  | 71  | 66   | 1251 |
|       | 日本人 | 91  | 77  | 75  | 66  | 24  | 79  | 90  | 44  | 64  | 52  | 45  | 41   | 748  |
|       | 計   | 221 | 229 | 224 | 239 | 130 | 168 | 162 | 128 | 150 | 125 | 116 | 107  | 1999 |
| スタッフ  | 205 | 185 | 196 | 215 | 191 | 203 | 187 | 166 | 156 | 154 | 156 | 184 | 2198 |      |
| 合計    | 426 | 414 | 420 | 454 | 321 | 371 | 349 | 294 | 306 | 279 | 272 | 291 | 4197 |      |

(単位/人)

|       |     | 月平均人数 | 日平均人数 |
|-------|-----|-------|-------|
| 相談・来訪 | 外国人 | 104   | 4.2   |
|       | 日本人 | 62    | 2.5   |
|       | 計   | 166人  | 6.7人  |
| スタッフ  |     | 183人  | 7.3人  |
| 合計    |     | 349人  | 14.0人 |

## ■7-4 センター内会議・その他

| 月日   | 会議            | 内容  | 出席  |
|------|---------------|---|-----|
| 4/6  | 第1回<br>スタッフ会議 | わいわいクラブの事業からの撤退、ふじみ野市からの委託事業、県と「子どもの健全育成支援専門員業務」委託契約、事務所移転、インターンシップ、県とNPOとの協働テーマ、ディスカバーワールド、日本語ボランティア養成講座報告 | 13人 |
| 4/20 | 第2回<br>スタッフ会議 | サティのレシートキャンペーン、2市1町の日本語ボランティア連絡会報告、埼玉県NPO協働提案推進事業提案書提出、戸田市「母子生活支援施設むつみ荘」視察見学報告                              | 8人  |
| 4/25 | 第11回理事会       | 総会準備、理事継続と新任の推薦、2010年度理事会の進め方、NPO協働提案推進事業補助金申請2件  | 8人  |

|       |                |   |     |
|-------|----------------|---|-----|
| 5/18  | 第3回<br>スタッフ会議  | 総会に向けて、総会後のイベントの提案、組織図の確認   | 10人 |
| 5/22  | 第12回理事会        | 総会とシンポジウム、センター組織図、うれし野会館入居公募に参加   | 6人  |
| 6/1   | 第4回<br>スタッフ会議  | 総会準備、シンポジウム「地域の国際化、いま何が必要か」企画、事務所移転について、NPO協働提案推進事業補助金申請第1次選考通過、SSCSインターンシップに関する報告とお願い  | 13人 |
| 6/15  | 第5回<br>スタッフ会議  | 総会・シンポジウム準備、事務所移転について経過報告、富士見市より国際フォーラム協力依頼、社会福祉協議会大井支所「ディスカバーワールド」企画、NPO協働提案推進事業第2次選考プレゼンテーション、日本工業大学「日本語教材作成」、国際理解のファイル作成、埼玉県南西部「ジモトのおやつ」手作りコンテスト     | 11人 |
| 6/20  | 第1回理事会         | 理事長・副理事長・常務理事の選出、理事会日程、理事会議題について、報告担当理事、うれし野会館入居応募の決定、常駐事務員   | 12人 |
| 7/6   | 第6回<br>スタッフ会議  | 三役と常駐事務員について理事会報告、埼玉県NPO協働推進事業が採択、インターンシップ受け入れ状況、ふじみ野市社会福祉協議会大井支所「ディスカバーワールド」   | 12人 |
| 7/16  | 第2回理事会         | うれし野まちづくり会館へ移転決定、常駐事務員募集、埼玉県NPO協働提案推進事業実施決定、6/20シンポジウムの開催結果と今後の開催について   | 8人  |
| 7/20  | 第7回<br>スタッフ会議  | うれし野会館2階東側個室(43㎡)への入居が決定、常駐事務員の募集について、埼玉県NPO協働推進事業進捗状況  | 8人  |
| 8/3   | 第8回<br>スタッフ会議  | 事務所移転準備、定款変更について理事会報告、新事務所の当番について   | 11人 |
| 8/17  | 第9回<br>スタッフ会議  | 新事務所レイアウトと契約に係る確認事項、火曜スタッフ会議の日程について、移転準備、「ハローフレンズ」「インフォメーションふじみの」テーマと配布先、水曜韓国語教室移転後休止   | 14人 |
| 8/28  | 第3回理事会         | 事務所移転、常駐事務員面接結果、埼玉県生活サポート支援の問題、「ハローフレンズ」記事企画、埼玉県NPO協働推進事業進捗状況、法人関係申請文書の保管について、常務理事の交代   | 11人 |
| 9/7   | 第10回<br>スタッフ会議 | 常駐事務員採用できなかったことの理事会報告、新事務所施設利用、パソコン教室生徒拡大について、センターを教室として使用するとき、県との協働提案事業「携帯電話による同時通訳システム」進捗状況   | 13人 |
| 9/21  | 第11回<br>スタッフ会議 | うれし野まちづくり会館利用確認、県との協働提案事業進捗状況、ふじみ野市と文京学院大学とFICECとの共同事業「まちづくり・まちおこし大学」受講生募集、月曜日韓国語教室が富士見市ふじみ野交流センターに移動、各プロジェクト移転後の状況報告、南西部地域振興センター関係の報告、移転の挨拶とスタッフ募集について | 9人  |
| 10/5  | 第12回<br>スタッフ会議 | 前期事業報告、県との協働推進提案事業進捗状況、スタッフ連絡先の更新、移転の挨拶とボランティア募集、ふじみ野市と文京学院大学とFICECとの協働事業「まちづくり・まちおこし大学」案内、埼玉県立大学IP演習   | 11人 |
| 10/19 | 第13回<br>スタッフ会議 | 2市1町日本語教室のPR、パソコン教室一般募集について、「まちづくりまちおこし大学『外国人にやさしい生活ガイドマップ』」、ふじみ野市「人権講座」、富士見市「国際フォーラム」、日本工業大学との協働、FICEC15周年記念事業、埼玉県男女共同参画室共催DV講座                        | 9人  |
| 10/24 | 第4回理事会         | 「携帯電話回線を利用した通訳事業」、「7ヶ国語生活情報クリップ」、パソコン教室生徒拡大について、事業報告(4月～9月)、理事会、忘年会の日程について、来年度の理事について、15周年記念行事  | 9人  |
| 11/2  | 第14回<br>スタッフ会議 | うれし野会館利用方法についての提案、携帯電話による通訳事業への協力、埼玉県男女共同参画室共催DV被害者支援研修会、15周年記念実行委員会より報告  | 11人 |

|       |                |  |     |
|-------|----------------|--|-----|
| 11/16 | 第15回<br>スタッフ会議 | 15周年記念事業実行委員会案、富士見市国際フォーラム報告と反省、会費、寄付金の拡大について、南西部地域 NPO 連絡会報告、シュレッター購入、生活相談スタッフから報告、忘年会                  | 12人 |
| 12/7  | 第16回<br>スタッフ会議 | パソコン教室にスタッフや一般申し込みがあったとき、携帯電話通訳事業来年度に向けて、「ジモトのおやつ」手作りコンテスト、15周年記念イベント、「ボランティアの集い」                        | 12人 |
| 1/11  | 第17回<br>スタッフ会議 | 「ボランティアの集い」最終確認、15周年記念事業「国際フェスティバル」、彩の国南西部地域 NPO 連絡会の交流大会報告、暮らしの中の人権講座、「ハローフレンズ」の記事提案「ケーススタディ」           | 9人  |
| 12/18 | 第5回理事会         | 携帯電話通訳事業の来年度の事業継続について、国際フェスティバル(15周年記念事業)、ふじみ野市体育協会ホームページ制作について、「ボランティアの集い」                              | 8人  |
| 2/1   | 第18回<br>スタッフ会議 | うれし野会館入居団体連絡会、パソコン教室インストラクターのボランティアについて、人権講座と国際交流「ふじみ野レストラン」報告、生活情報クリップ進捗状況、東上線沿線日本語教室一覧作成について           | 11人 |
| 2/22  | 第19回<br>スタッフ会議 | うれし野会館入居団体連絡会提案事項、携帯電話通訳事業経過報告、国際フェスティバル、生活情報クリップが完成と配布作業、スカイプ設定   | 9人  |
| 2/26  | 第6回理事会         | 15周年記念事業「国際フェスティバル」、うれし野まちづくり会館入居団体連絡会、インターネットサーバーの移転、携帯電話通訳事業の進捗状況、平成23年度新理事の推薦、総会後のイベント                | 10人 |
| 3/8   | 第20回<br>スタッフ会議 | 光フレッツへの変更とスカイプ電話採用について、携帯電話事業報告、インターン学生への対応、15周年記念「国際フェスティバル」、総会後の企画案、ふじみ野市社会福祉協議会大井支所主催「英語教室」報告         | 12人 |
| 3/29  | 第21回<br>スタッフ会議 | 23年度携帯電話通訳事業開始について、15周年記念「国際フェスティバル」、セカンドリーグからの提案、東日本大震災の被災者一時仮宿泊施設、来年度「子ども健全育成支援専門員業務委託」、東日本大震災義援金と支援物資 | 11人 |

## その他

|       |                              |
|-------|------------------------------|
| 4/11  | サティイエローキャンペーン贈呈式             |
| 5/18  | 東入間遊技業防犯連絡会寄付金贈呈式            |
| 6/5   | 会計監査〈センター〉                   |
| 6/20  | 第12回通常総会とシンポジウム              |
| 6/23  | うれし野まちづくり会館入居申込              |
| 7/2   | チェリリンさん一家来日ポットラックパーティー〈センター〉 |
| 8/26  | センター引越し                      |
| 9/24  | 法務局へ住所・役員変更届けを提出             |
| 12/21 | 大掃除                          |
| 1/15  | ボランティアの集い〈うれし野まちづくり会館〉       |

## 【ボランティアの集い】

開催日時—1月15日(土) 13:00~15:00 開催場所—うれし野まちづくり会館3F集会室

## ①参加者34名

ボランティア希望者5名(富士見市1名、ふじみ野市2名、川口市1名、所沢市1名)

スタッフ16名、外国籍スタッフ6名、ボランティア2名、新旧インターン2名、その他3名(警察関係2名含む)

## ②新しく活動を希望した方4名

希望分野（複数回答） 日本語教室2名、国際子どもクラブ1名、国際フェスティバル2名、パソコン教室のインストラクター1名

## 課題一

- ・今回ボランティア参加を希望した方を継続的に活動していただくために、センター側の受け入れ態勢を充実しなければならない。
- ・今後このようなイベントを恒例化し、ボランティアや会員拡充につなげたい。
- ・各事業の担当者はこのようなイベントに備え、活動紹介のパワーポイントを作成しておきたい。
- ・会の雰囲気をもっと気楽な感じにして、参加しやすく楽しいイベントにしていきたい。

事業計画（案）

今年は「ふじみの国際交流センター15周年記念・国際フェスティバル」の準備から始まりました。3月11日の東日本の大震災や原発事故があった後にお祭りをするのはどうしたものかという意見もありましたが、みんなで話し合い、被災者に対する募金活動を併せて行うことになりました。

それより以前から、宮城県の山元町に単身で被災者支援に行っているセンターの理事を通して、義援金や物資を送る活動を続けています。

国内が大被害にあった現状では、在日外国人支援などと訴えてもなかなか耳を傾けてもらえそうもありませんが、14組に1組が国際結婚をしているという埼玉県内の現実として、在日外国人を巡って毎日さまざまな問題が起きています。

また、平成24年7月までに在留管理制度が変わります。これまで入国管理局と市町村が行っていた情報の把握を一つにまとめて、法務大臣が在留管理に必要な情報を把握する仕組みです。めまぐるしく変わる社会に適応しながら、今年度もみんなと力を合わせて外国人支援をしていきたいと思っています。

| 事業名           | 事業内容              | 実施日程・回数  | 実施場所        | 従事者          | 受益者       |        |
|---------------|-------------------|----------|-------------|--------------|-----------|--------|
| 外国人の人権擁護と自立支援 | 生活相談              | 5日/週     | センター他       | 10名          | 外国籍市民     |        |
|               | シェルター             | 通年       | センター、県内     | 10名          | 外国籍市民     |        |
|               | DV講習会・生活相談勉強会     | 随時       | ふじみ野市・センター他 | 10名          | 50名       |        |
|               | パソコン教室            | 第2,4木曜   | センター        | 3名           | 150名      |        |
| 国際理解と国際交流の推進  | 国際理解社会教育          | 国際理解講座   | 随時          | 小中高校・公民館他    | 40名       | 2,000名 |
|               |                   | 大学との協働   | 随時          | 大学・県NPO活動推進課 | 5名        | 100名   |
|               | 語学教室              | 中国語教室    | 金曜・随時       | センター         | 85名       | 250名   |
|               |                   | 英語教室     | 木・火曜        | 西公民館         | 1名        | 150名   |
| 多言語情報の収集と提供   | 生活情報誌の発行          | 12回      | センター        | 11名          | 4800部     |        |
|               | 生活ガイドHP維持管理       | 4回/年     | センター        | 6名           | アクセス数9万件  |        |
|               | 翻訳                | 随時       | センター・県内     | 130名         | 外国籍市民     |        |
|               | 携帯電話通訳事業          | 随時       | センター        | 20名          | 埼玉県民      |        |
| 日本語学習支援       | 日本語教室             | 木曜日      | センター        | 200名         | 外国籍市民     |        |
|               | 国際子どもクラブ          | 土曜、長期休暇中 | センター        | 300名         | 外国籍児童等    |        |
| 子どもの健全育成      | 子どもの健全育成支援        | 月・水・金    | 藤久保公民館      | 450名         | 外国籍児童等    |        |
| 行政との協働        | 行政との協働事業          | 随時       | 県内          | 30名          | 埼玉県民      |        |
|               | NGO・NPO・日本語ネットワーク | 随時       | 県内          | 3名           | 埼玉県民      |        |
| その他           | 機関誌の発行            | 隔月       | センター        | 3名           | 6000部     |        |
|               | ホームページ            | 随時       | センター        | 1名           | アクセス数30万件 |        |

## 1. シェルター

入居にいたる経緯には入居者の生活力が乏しいことが関係しているケースもある。

入居者が自立するための支援として「部屋の掃除やゴミ出し、光熱費の支払い、買い物や節約、毎日の食事やお風呂など」生活全般の指導をしていきたい。

並行して、日本で生活していくためには日本語の習得が鍵となる。シェルターに入居したら毎日センターに通い、日本語の勉強やセンタースタッフとのコミュニケーションを取るよう働きかけたい。

センターの受け入れ体制として、シェルター日誌の記録と管理、マニュアル作成と翻訳、入居者が必要とする機関のリスト作成などを実施していく。

## 2. 「インフォメーションふじみの」

- ① 日常生活に直結した役立つ紙面を目指し、2市1町の情報にもアンテナを指向する。
- ② 昨年も目指していたが、引き続き富士見市の広報「ふじみ」で本誌を紹介していただいている。ふじみ野市、三芳町においても生活相談の委託を受けているという見地から同様に掲載をはたらきかけたい。
- ③ 表紙デザインを引き続き検討しているが、無料の素材を見付けることに腐心している。従来のシリーズも枯渇し始めているので、表現方法を考察することを考えたい。
- ④ 新しいスタッフも増え、月1回のスタッフ会議も充実するようになってきた。執筆も内容の濃いものになってきているので、企画によっては増ページも視野に入れている。
- ⑤ 今後制作物の受注があった場合、ふじみの国際交流センターと並列して「インフォメーションふじみの編集部」といったクレジットを入れることを考えてはどうだろうか。

## 3. 日本語教室

- ① 22年度も日本文化の一端を味わっていただくということで、季節に合わせたイベントを実施してきた。毎回のことながらスタッフ皆さんの力強い強りに感謝したい。この考えはこれからも続けたい。特に蕎麦打ち体験は、戸塚講師の腕によるところが大きく楽しみなイベントで本年度もお願いできれば実施していきたい。またセンターのイベントと限定することなく日本語教室連絡会にも呼びかけ、多くの参加者を期待したい。
- ② 5月には、昨年同様知り合いの茶園が新茶の茶摘み体験を行うことになっている。ここでは一般市民も参加するので多くの日本人とも接する機会ともなろうかと考えるので、参加を予定したい。参加費は100円でさまざまな体験が予定されているので、人数次第では予算化も考えたい。
- ③ 本年も日本工業大学が卒業研究として日本語教材を予定しているようである。昨年の作品が製品となってセンターにいただけることになっているので、それを利用して実践授業に取り入れる方向を目指したい。教材利用の新方式になることを期待している。ソフトはCDなので機器はパソコンを利用することになるが、できれば利用簡便なプレーヤーがあると使いやすさが増すと考える。
- ④ 一昨年好評であった「日本語の教え方とコミュニケーション」講座の再開は検討できないか。修了生の活躍に期待したい。
- ⑤ 昨今大学や団体から体験学習参加の打診が多くなっている。中には長期の参加も期待できるということで、新企画として「東上線沿線日本語教室ガイド」の制作を予定した。  
しかし参加予定が確定しないまま経過し未完のままで終わった。そこで本年の早期完成を目指したい。
- ⑥ センターの日本語教室は日本人との交流を通しての日本語を学ぶ姿勢を堅持してきた。したがって指導に参加していただくボランティアに制約はないが、参加者に知識として持ち帰っていただけるものを提供するのセンターにおける日本語教室の使命であろうと考える。その点も含めて先達が伝授する外国籍市民への日本語指導という立場から考える外国籍市民と付き合う法を考えてみたい。

- ⑦昨年「日本語教室」の受講生からの要請があった、駅からセンターまでの道順の詳細図を作成し、交番や役所などの公共施設に置けるものを作ってみたい。インフォメーションやセンター案内に出ているので理解できるものと思うが、できればより詳細なものを用意することで遠距離のイメージを少しは緩和できるのではないかと思う。
- ⑧昨年も新しい日本語指導ボランティアが参加してくださった。日常生活用語としての日本語指導を目指しているが、学習者対応に少し説明が必要な姿勢も感じられる指導者もいる。そこでセンターが所有する「心得」を少し拡大し、日本語連絡会に出席の教室の皆さまからも集めた「心得帳」を準備し、日本語指導に関わるボランティアに理解を深めていただくとともに、センターの日本語教室担当者以外でも新規ボランティアに説明できるようなものがあればと考える。

#### 4. パソコン教室

今年度もよりパソコンが楽しめる楽しい特別授業を実施したいと考えている。  
今の初心者の方々が少し慣れた所で差し込みたいと考えている。  
また、より多くの外国籍の方にも積極的に参加を呼びかけたい。

#### 5. 国際子どもクラブ

- ①学校でのとりだし授業担当者との連携を図る。

来日してすぐの子どもの場合、小中学校で「とりだし授業」が行われている。とりだし授業の先生との連絡をとり、学校での様子や日本語学習の様子など情報をもらい、こどもクラブでできる学習支援をしていく。

- ②学習者の対象を広げる

上福岡方面の小学生が通うには遠すぎる為、親子での参加を薦める。

ボランティアの人数に余裕があれば、親への日本語支援も行う。

インフォメーション6月号で告知。スタッフより身近な外国の方への声かけをお願いする。

- ③「日本語を母語としない児童生徒のための日本語学習支援団体連絡会議」への参加

#### 6. 携帯電話回線を利用した通訳事業

埼玉県との協働が修了し、ふじみの国際交流センターの事業として新たにスタート。

蕨・滑川・東松山・三郷の4市町は事業をそのまま継続し、新たにさいたま市の10区が加わった。

当面は、通訳言語は5言語、通訳者8名体制で対応する。

特定非営利活動法人セカンドリーグ埼玉とコンサルタント業務契約を新たに締結し、ふじみの国際交流センター理事、及びスタッフ7人が本事業の担当として、それぞれ役割に応じた活動を行う。

4月

- ・セカンドリーグ埼玉と、埼玉県国際課も加わった事業スタートに向けての準備会議
- ・マニュアルの改訂
- ・営業用パンフレット作成
- ・研修会
- ・携帯電話ならびにマニュアル等のキット作成
- ・各行政との契約書の取り交わし

5月以降

- ・毎月研修会を開催し、通訳者のレベルアップと課題検討を行う。
- ・利用者を増やすために、各行政と連絡を密にとり、必要な広報活動を行う。
- ・報告書のとりまとめを行い、データを様々な角度から集計し、それまで見えなかった課題や、新たなビジネスチ

チャンスを活かして上げ、今後の事業発展につなげる。

事業としてCS(顧客満足)の向上だけでなく、ES(従業員満足：この事業の場合通訳者)の向上も大変重要になる。通訳者のスキルアップは顧客の信頼度アップに直接つながるので、常に行政サイドと通訳者が何を求めているのかアンテナを張り、頻りに情報収集を行う努力をし、タイムリーな対応が出来るように関係スタッフ一丸となって事業の発展の為に力を尽くしていきたい。

## 7. 子どもの健全育成支援事業

子どもの健全育成支援事業として、日本語を母語としない児童・生徒を主体に子どもたちが高校入学できる程度の学力を身につけるための学習支援と生活指導を行なう。(埼玉県社会福祉課の業務委託継続事業)

- ・学習支援：毎週月・水・金曜日、藤久保公民館（又は集会所）  
小学生クラス：14：30～17：30、中学生クラス：16：30～21：30
- ・スタッフおよび勤務時間  
支援専門員各クラス2名：24時間/週  
学習支援にはボランティア補助支援員若干名が参加
- ・支援児童・生徒数ー小学生：～15名、中学生（高校生を含む）：～25名

## 7. 国際フェスティバル

当センターは今年で15周年を迎える。たくさんのボランティアと、二市一町の行政とに支えられて活動をしてきた。これまで、応援していただいた会員の皆さんやご理解いただいている地域のみなさんへの感謝と多文化共生・国際交流を目的に、フェスティバルを開催する。

期日 5月28日(土) 雨天時は29日(日)

場所 東久保中央公園 時間 11時から15時

協力 ふじみ野市 富士見市 三芳町 埼玉県警

